

「さがみはら産業振興ビジョン（案）」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

平成28年3月に「さがみはら産業振興ビジョン2025」を策定し、目指す産業像「世界に向けて、新たな価値と魅力を創造・発信し、未来を拓くさがみはら」の実現に向けて施策を推進してきたが、ポストコロナにおける社会変容、デジタル化の進展、リニア駅周辺のまちづくりなどの社会経済環境が大きく変化していることから、現行計画の方向性等を継承しつつ、必要な見直しを加えた「さがみはら産業振興ビジョン(案)」を作成しました。

この度、同計画を策定するに当たり、市民の皆様からのご意見を募集いたしました。

その結果、1人の方から7件のご意見を頂きましたので、ご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

なお、頂いたご意見につきましては、今後の取組に生かしてまいります。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和6年12月15日（日）～令和7年1月21日（火）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架

※ 資料の配架場所

地域経済政策課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・中央6地区・大野南まちづくりセンターを除く）、各出張所、各公民館（沢井公民館を除く）、各図書館、市立公文書館

3 結果

（1）意見の提出方法

意見数		1人（7件）
内 訳	直接持参	人（件）
	郵送	人（件）
	ファクス	人（件）
	電子メール	1人（7件）

（2）意見に対する本市の考え方の区分

- ア：計画案等に意見を反映するもの
- イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの
- ウ：今後の参考とするもの
- エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目		件数	市の考え方の区分			
			ア	イ	ウ	エ
①	Ⅱ さがみはら産業振興ビジョンに関すること	7		1	6	
合計		7		1	6	

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
①	Ⅱ さがみはら産業振興ビジョンに関すること		
1	抽象的な言葉が多く、全体的な方向性が一般市民には伝わりにくいと感じます。	いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	ウ
2	「イノベーション」や「次世代モビリティ」「DX促進」などの言葉が多用されていますが、具体的な実現方法や現実味のあるステップが欠けているため、「本当にこれが実現できるのだろうか?」と疑問に感じる部分があります。	さがみはら産業振興ビジョンは、産業政策の方向性を示すものであり、本市が目指す産業像の実現化のために4つの戦略を掲げ、行動指針として、8つの施策の方向性を定め、さらに、各方向性から基本施策、事業へとより具体的な内容に展開する構成としています。	ウ
3	様々な市民の方が興味を持って見ることができるよう、分かりやすい発信を希望します。例えば、次世代モビリティと言っても自動運転、ドローン、Maasなどが含まれますが、市民がどのような課題を抱えているのかなど、市民の現状課題との関連が示されていないと思います。	また、基本施策と施策に関連する主な取組は、本ビジョン(案)の「基本施策と主な事業」に示しております。 いただきましたご意見につきましては、今後の各取組を推進する際の参考とさせていただきます。 (※2から4まで同じ。)	ウ

4	<p>「次世代モビリティ」や「DX（デジタルトランスフォーメーション）」といった流行りの言葉が先行していて、肝心の「何をどうするのか」「市民にとっての具体的なメリット」が後回しになっている印象を受けます。様々な年齢、立場の市民の方にもう少し平易でわかりやすい発信も併せてしていただくことを希望します。</p>		ウ
5	<p>東京や名古屋など、新たな起業支援施設ができていますし、品川区は女性スタートアップHubや、名古屋はstation aiなど新たな施設ができており、起業家支援が活発に行われています。</p> <p>米軍基地跡にこのような施設を作ることを提案しました。市民のための施設を作ってほしいと感じています。</p>	<p>本市においてもインキュベーション機能を有する「さがみはら産業創造センター（SIC）」において、インキュベーションマネージャーによる支援やオフィス等の提供を行っております。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、更なるイノベーション創出促進事業やインキュベーション機能の強化を推進していく上で、今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
6	<p>資料の中にいくつか補助金項目がありました。補助金をもらって終わりにならない仕組みが必要です。</p> <p>例えば、社会貢献やイノベーション、SDGsなどの言葉が先行して、実態が伴っていないとはならないようにしていただきたいです。</p> <p>必ず数値を出していただき、途中経過も数値を求めるようにしてほしいです。</p>	<p>各種補助金につきましては、その補助金の目的が達成されるよう、事業の進捗等を確認するとともに、実績に対する評価を行っております。</p> <p>引き続き、補助金の効果的な活用に取組んでまいります。</p>	イ

7	<p>インキュベーションについて、相模原で起業するより、近くの東京で起業して東京に法人を置いた方が現状メリットがあります。優秀な人材確保、情報取得も含めて、起業したての頃に必要な、おしゃれなレンタルオフィスありません（東京なら、インキュベーション機能を設置した、おしゃれな起業家が集まる施設がある。）。</p> <p>どのように東京と差別化していくのかを考えないと、起業家も法人も集まらないと思います。</p> <p>麻布台ヒルズとまでは行かないまでも、お金を払ってでも住みたい場所にはなっていない気がします。</p> <p>という状況なので、法人が集まらず、東京のベッドタウン化が進み、地元での雇用が「倉庫」や「工場」などに偏り、多様な職業選択肢がない状態で雇用機会がなく、成長産業に関わる仕事がほとんどないため、若者が東京に流出してしまっているのではないのでしょうか？</p> <p>ブランディングについては、プロに頼んだ方がいいのではないかと思います。</p>	<p>本市においてもインキュベーション機能を有する「さがみはら産業創造センター（SIC）」において、インキュベーションマネージャーによる支援やオフィス等の提供を行っております。</p> <p>また、雇用創出についても、産業集積基盤の強化や産業集積促進方針に基づく成長産業の誘致などに取り組んでおります。</p> <p>いただきましたご意見につきましては、更なるイノベーション創出促進事業やインキュベーション機能の強化、雇用創出を推進していく上で、他市等の先進的な取組事例等も含め、今後の参考とさせていただきます。</p>	ウ
---	---	--	---